

地方への人の流れを加速する都市鉄道ネットワークの強化について

＜提案・要望先＞ 国土交通省

＜提案・要望の内容＞

本格的な人口減少が進む中、我が国の経済発展をリードしてきた首都圏では、国際競争力強化に向けた空港アクセスの改善や訪日外国人への対応、さらにはポストコロナ時代にふさわしい、地方創生に資する都市鉄道ネットワークの構築が求められております。

このような中、平成 28 年(2016 年)4 月に交通政策審議会答申第 198 号で示された、令和 12 年(2030 年)頃を念頭に置いたつくばエクスプレスのあり方については、東京までの延伸に加え、都心部・臨海地域地下鉄構想との一体整備が明記され、令和 6 年(2024 年)12 月には、つくばエクスプレス沿線市区による両鉄道の接続に向けた期成同盟会が発足するなど、東京延伸に係る機運が高まっております。

また、地元では、広域的な交流を一段と活発化させるとともに、本県発展の起爆剤になるとして、県内延伸についても大いに期待が高まってきているところであり、県においては、令和 5 年(2023 年)6 月に延伸方面は土浦方面、J R 常磐線と接続する駅は土浦駅と決定いたしました。さらに、令和 7 年(2025 年)2 月には、関係機関との調整のベースとなる延伸構想の事業計画素案を策定し、県独自の調査において、土浦延伸単独整備及び東京延伸との一体整備のいずれのケースにおいても費用便益比 B / C が 1 を上回り、採算性についても、特に東京延伸との一体整備の場合、黒字化が早まるという結果を得たところであります。

今後、つくばエクスプレスの延伸計画の具体化に向け、関係者による検討の場を設けるほか、関係者との調整を進めていくために必要な追加調査・分析を実施し、事業計画素案の磨き上げを進め、延伸構想の実現を目指すこととしております。

加えて、東京都心と本県県西・南部地域等とのアクセスを改善し、東京の都市機能のバックアップ等につながる道路・鉄道網を強化することが強く期待されております。

つきましては、下記の内容について特段の御配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 我が国のより一層の成長・発展の基盤を築く上で、世界的な科学技術拠点都市であるつくばと東京都心、さらには中部圏や関西圏等を密接に結ぶ都市鉄道ネットワークの構築が極めて重要であることから、交通政策審議会答申

第 198 号を踏まえ、つくばエクスプレスの東京延伸の早期実現に向けて、特段の支援を行うこと。

また、地域生活圏間の連携や大都市の高次サービスへのアクセス、観光やビジネスでの往来、さらには地方創生の取組等を一層加速させる観点から、地域間を結び、利便性の向上に寄与する交通ネットワークの更なる充実やリダンダンシー（代替輸送機能）確保等につながる、土浦延伸と東京延伸の一体的な実現に向けても特段の支援を行うこと。

2 土浦延伸と東京延伸の一体的な実現に向け、つくばエクスプレス延伸構想の事業計画素案の内容や交通政策審議会答申第 198 号を踏まえ、2050 年、さらにその先の長期を見据えた計画である首都圏広域地方計画に、土浦延伸及び東京延伸の意義や必要性を位置付けること。

3 東京 8 号線（地下鉄 8 号線）について、東京の都市機能のバックアップ等の観点から県及び地元市町とで、東京都心とのアクセス改善を検討しているところであるが、その前提となる押上からの延伸の早期実現に特段の支援を行うこと。